

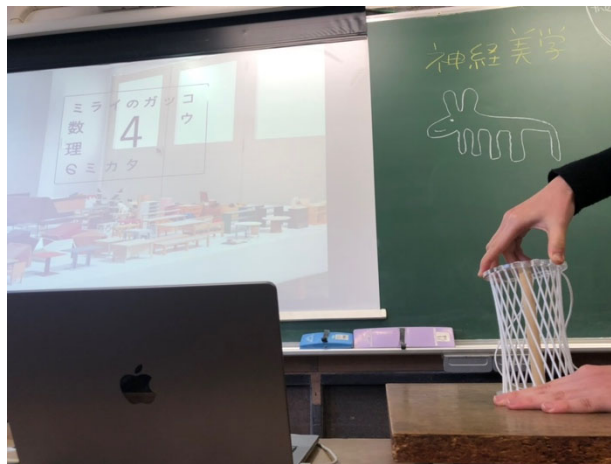
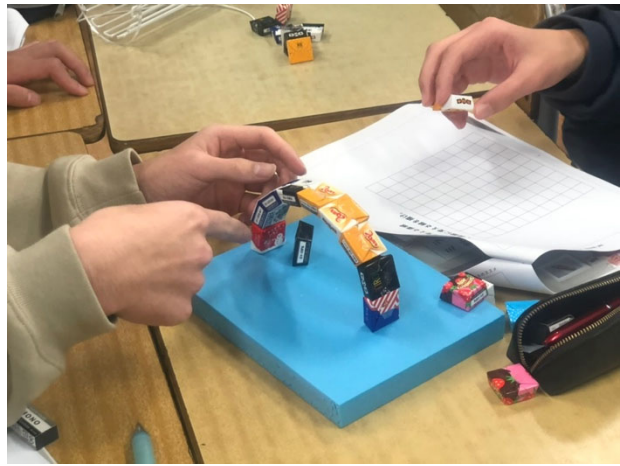


## 令和5年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	ミライのガッコウ-数理のミカタ	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学・教育学部・1年
	ふりがな 氏名	なかた ゆいな 中田 結菜
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学学術研究院総合人間科学系准教授

活動名	ミライのガッコウ-数理のミカタ
実施時期	令和5年9月～令和6年1月
実施場所	松本深志高等学校・信州大学松本キャンパス
活動内容	<p>2020年から開始された県立高校「未来の学校」構築事業（5ヵ年計画）とは、「高校改革－夢に挑戦する学び」実施方針に基づき「未来の学校」として先進的・先端的な学修に取り組む実践校を指定することにより、長野県高等教育を牽引する新たな学びの場・学びの仕組みを構築するものである。</p> <p>この「未来の学校」に長野県では深志高等学校が実践校として選定されている。「考えるゼミ」で何年にも渡り行っている「学校とはちょっと違う学び」をデザインするtentという活動が、「未来の学校」の狙いや想いと同じことから、「未来の学校」への授業提供の依頼を受け、新しい学びの場づくりのtentメンバー（信州大学生6名・筑波大学大学院生1名）と協力し、「ミライのガッコウ」と題し数理探究をメインテーマに探究課題を企画し、実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミライのガッコウ 数理のミカタ 第1講（9月30日） 「探究のミカタ」</li> <li>・ミライのガッコウ 数理のミカタ 第2講（10月21日） 「コトバを数理探究する」</li> <li>・ミライのガッコウ 数理のミカタ 第3講（11月18日） 「いきものを数理探究する」</li> <li>・ミライのガッコウ 数理のミカタ 第4講（12月9日） 「藝術を数理探究する」</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>



### 活動の成果 と今後の課題

「考えるゼミ」でこれまで行なってきた「学校とはちょっと違う学び」をつくる tent の活動の経験が、こちら「ミライのガッコウ—数理のミカタ」にも活かされた手応えを感じた。tent と同様に、考えるゼミのメンバーと企画立案からその実施までどうしたら難しく思える「数理探究」が楽しくなるのか、試行錯誤を繰り返しながら作りあげていった。このおよそ 6 カ月間のこの活動の準備や議論や、その実践を通じて、今期も私たち自身が高校生に向けての楽しい学びについてある程度の手応えを得られたことが一番の成果であったと思える。そして、私たちの努力や想いが、参加してくれた深志高校生 50 名にも伝わっていたように思う。どの回も高校生が難解な問題についても笑いながら楽しみながら頭だけでなく手を使いながら解いていたのがとても印象に残っている。探究は楽しいものだと思ってもらえたように思う。

今後の課題は、次年度も継続される「未来の学校」事業（5 ヶ年計画）に向けて学びのネタを探し、探究の工夫を考え続け、「未来の学校」事業（松本深志高等学校）の成功に貢献し続けることである。つまり、来期もこの活動そのものを続けていくことが、私たちのこれからの課題だと考えている。

	<p>私たちの活動が、無事に今年度も実施できたのは、高等教育コンソーシアム信州にご支援頂けたことが非常に大きい。この活動の準備には参考となる資料・文献や授業で魅せるための模型や教材等を自分たちでつくりあげたため、頂いた支援がなければ、その多くが満足にはつくることはできませんでした。本当に感謝しております。有難うございました。</p>
--	---

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体のPRを行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。

※本様式のほか、活動内容や成果についての報告動画を併せて作成して提出してください。